

講師紹介

桜十字福岡病院 漢方内科

木村 豪雄

Hideo Kimura



【演題】

症例から学ぶ山本巖の漢方

山本巖先生は「医学に西洋も東洋もない。病気をよく治す医療がよい医学である」と述べ、日本漢方・中医学・西洋医学それぞれに精通することを心掛け、その上で真に病人を救う医学を創造するべきであるという指針を多くの弟子に示されました。

木村豪雄先生はまさにその指針の如く医師の道を歩んでこられました。漢方をどのように学び、医療に生かしていくのか、症例をベースにした講演です。

【学歴・職歴】

1986年 福岡大学医学部卒業
福岡大学脳神経外科講座入局
1993年 福岡大学大学院医学研究科修了
福岡大学医学部脳神経外科講座助手・
病棟医長・医局長を歴任
2000年 飯塚病院 漢方診療科 研修
漢方を三瀧忠道先生に師事
2002年 飯塚病院 漢方診療科診療部長
2004年 ももち東洋クリニックに出向
(院長職, 飯塚病院漢方診療科診療部
長兼任)

2010年 小郡漢方塾に参加
福富稔明先生より「山本巖の漢方」を
学ぶ

2013年 桜十字福岡病院漢方内科 現在に至る

【学会活動】

日本東洋医学会専門医・指導医
元日本脳神経外科学会専門医

【その他】

福岡大学医学部 臨床教授

【著書】

新解釈 山本巖の漢方クリニカルQ & A 入門編,
メディカルユーコン, 2022年

